

# 八王子・日野支部 ニュース

発行者：第2次新横田基地公害訴訟原告団 八王子・日野支部 2018.2.9発行

## 東京高裁での段取り始まる

### 裁判長決定と「進行協議」

3月5日 15時30分より、東京高裁で「進行協議」が開催されます。傍聴人数に制限がありますので、傍聴希望の方は各世話人にご連絡ください。

### 進行協議から

進行協議とは裁判の開催、論点整理、現場検証の有無、等を裁判官を中心に打ち合わせる場です。ここでの論議の中心はいかにこちらの論点・主張を開示できる場を多くできるかにあります。

## 一笑

新年の初詣に行きましたか？お賽銭をいくらあげましたか？お賽銭をいくらあげなければ願い事を聞いてくれないと考えている人が多いと思います！ お金には凶罪が宿るといわれているのです、この凶罪を払拭していただくために神様に差し出すものなのだそう、だから金高にによって願い事を聞き入れるような神様ではないのです！誰にでも平等にご利益があるのです、（神主に少ないとしかられるかも知れませんが！）  
私は 紙に五円玉↓を ↓四個合わせて包み二十円を投げ入れました！  
神にご縁があって 幸せ で 二重の縁 と考えました。  
・・・それほど幸せではないが 何となく生活ができることが幸せかな？・・・  
お参り、神頼みは自己研鑽の再認識をよえてくれる機会とおもいます。  
神主に賽銭が少ないと叱られるかも知れませんが一言！賽銭は多いほうが良さそうです！・・・二重の縁より五重の縁 百の縁より千の縁と・・・  
（次回は 診断について書きます。）

## 八王子市市議会各派への説明会開催

地裁「判決」でも強く感じたことは、行政の本問題への取り組みを前向きにさせることが喫緊の問題ではないかと。特に八王子市の上空で常駐するC-130の旋回飛行地域の拡大、そこでオスプレイの訓練が予定されていることなど、この対策を八王子市に求め、具体策を取らせるためには、市議会各派の議員の皆さんの支援が必要と「説明会」を開催します。皆さんの参加をお願いします。

## 市議会各派へ「説明会」

2月19日(月)

午後2時半より

## 手紙が来ました

# NHK 受信料問題

## 航空機騒音対策 NHK受信料補助の一部廃止！

防衛省は平成30年度の予算から横田基地など全国十九施設の周辺で放送受信に支障をきたす地域での受信料の半額（1件あたり約7千円）を補助しているが防音工事が完了した世帯は視聴環境が改善したとして補助をやめる！

「防音工事を施しても一日中その中で生活しているわけでもないのでは効果が少ない」との意見や「防音工事自体そんなに効果のあるものではない！」などの意見も多いが過去の裁判で幾度と無く工事の効果には限度があると低い評価がでているのに防衛省は一方的に補助を無くすことにする！

ちなみに、八王子市内では1万600件、日野市内でも9,670件が対象で、横田基地関係では東京都関係で5万2300件をこえる世帯が対象となる！ 全国レベルでは19施設の周辺42万件のうち14万件が検討対象となります

基地周辺では縦横無尽の旋回訓練飛行が増大しているのに旧態依然としたコンターを一方的に縮小する逆向きの対応ばかりで地元の市町は拡大を求める反対の動きである・・・この動きを市から都へ、都から国へ強く訴えていきたい！

ところで！NHKの受信料はいくらかご存知ですか？

地上契約で一ヶ月1,260円です・・・（口座。クレジット払いで）

NHK受信料総額 6,769億圓・・・（2016年度 徴収率 約80%で）

この公共放送料は受信機を据え付けた者は支払い義務が生ずることは憲法に違反しないとの最高裁判所の判断がでています！しかし

・生活保護受給者、小、中学校の教室に設置されたものは無料

今後は経済的に困窮な状況にある学生や法人の割引などをすすめる！・・・とのこと

## 手紙は

防衛省 北関東防衛局 から来ました。

NHK受信料はNHKと契約します。後から、NHKが「騒音地区」により、減額ですので、『還付』します、と連絡があります。この「減額分」が防衛省から補填されていたのは理解の外でした。

今回の手紙にはよくわからない点が多く、今後情報をよく集めていき、対処を考えたい。

## 回答を

質問の三か所の中、該当項目にチェックを入れ 3月31日までに回答をと

質問の三か所

- ① 住宅防音工事が完了しております。
- ② 一部住宅防音工事を実施しております。
- ③ 住宅防音工事を行っていません。

⇒⇒ここでの注意点

「住宅防音工事」は「防衛省」と関係ある工事のこと

なお、以下の確認もあります。

『③ 住宅防音工事を行っていない世帯は、NHK放送受信料の助成を継続。』

同封のNHKからの文章は

『※住宅防音工事を行っていない世帯は、受信料のご請求額の変更はありません』

## 厚木基地爆音防止期成同盟は

2018年1月24日防衛省と本件で交渉しました。

「NHK放送受信料補助制度の廃止撤回と更なる補助制度の充実について」（要請）

最後の三行引用します。

「防衛省は、NHK受信料の補助制度の見直しを撤回するとともに、広範囲で騒音被害を受けている実態を踏まえNHK受信料助成対象区域の拡大と全面免除とする補助制度の内容の充実を図るよう要請します。

☆別紙の説明☆

12と1月の騒音記録 町会掲示板より

## 「世話人会と学習会」のご案内

2月24日(土曜日) 18:30~20:30 会費なし、

会場：宇津木台町会会館 夕飯・弁当 用意します

久保山町 1-20-6 (久保山学童保育園隣)

打合せ予定項目

- ☆ 八王子・日野支部の活動報告・今後の予定
- ☆ 「控訴」内容学習 (第二回:オスプレイとヘリ墜落問題)
- ☆ 質問・感想・意見等

世話人 ◎ご出席される方は下記世話人にご連絡ください

◎久保山町一丁目町会の方：中島 TEL:186-042-692-0187

後藤 TEL:042-692-0985

◎久保山町二丁目中央自治会の方：宮川 TEL:042-691-5141

◎石川町の方：守屋 TEL:090-5750-6952

◎上記以外にお住みの方：立石 TEL:042-692-3995

1月の月例世話人会から、「学習会」の時間を組入れますので、皆さんも

ご参加 ください



# 対八王子市(環境部・環境保全課と総務部・総務課)

## 騒音問題交渉開催

1月18日  
(木曜日)

### 「騒音データ」を提出・被害報告

当方より「12月の飛行機騒音報告」提示し、**(別紙に掲載していますので、ご覧ください)**

12月の特徴は米韓、日米の戦闘機の合同訓練が行われるたびに横田基地がその中継基地化している。「報告」の①から③は騒々しい日を詳しく、かつ、「騒音評価指数」をどう考えるかを論じた。

①12月7日夜間22時10分に3機編隊の戦闘機飛来、全てLAmax 78dB 前後の例この時の地上騒音は43dBと35dBの差で、生活環境論では地上騒音から10dB以上の音を騒音と定義しており、夜間のこの騒音が一分間に響いたわけで、睡眠妨害と言うほかない。ところが環境評価のいわゆる、Lnight, Ldenを計算するとLAEが85dBの騒音が3回程度では57dBを超えることなく、

『静かな夜』『静かな日』となってしまう。

②12月1日お昼11時30分に4機編隊の戦闘機飛来、全てLAE 100dBを超えており、この日のLdenは66dBを示した。①との違いなど考えるに、とてつもない騒音が数回つづかないと、Ldenが57dBを超える事ないことから、この環境評価基準の計算方式では、「騒音の被害感」を正しく示せないと言わざるを得ない。

③12月13日14時21分に3機編隊の戦闘機飛来、Ldenは57.6であった。

#### いわゆる「環境基準」とは何か

私たちは「定点で通年観測し、このような個々の騒音被害を捕えよ」と要求している。

### 横田基地隣接5市1町並みの行動を

#### 「12月の飛行機騒音報告」の右下の文章

例年東京都知事と周辺5市1町の長の連名で、横田基地の司令官に「要望書」が出ている。市は「東京都26市・市長会で知事に要望している」との答弁を繰り返すが、それと合わせこのような「要望書」に参加してこそ、私たちの切実な要望に答えていく、具体的な一歩と言わざるを得ない、なぜ、八王子市は共同歩調が取れないのか。早急に検討すべしだ。



## オスプレイがやってきて 我が物顔で飛んでいた

**(別紙「1月の飛行機騒音報告」  
に詳しく掲載していますので、  
参考にしてください)**

昨1月17日久保山町の上空をオスプレイが数多く飛来したが八王子市には連絡はあったのか。

#### 市の回答

「北関東防衛局からの連絡を昭島市役所経由で入手し、ホームページに掲載した。」

#### オスプレイ飛行状況説明

我々が見た限り、全てのオスプレイが「ヘリモード」での飛行であり、この会議でも数々の図を持って、この飛行モードの変更行動における危険性と、ヘリモードでの事故率の多いことを説明してきた。しかも今回一日中我々の周りを飛行しており、まるで横田基地に駐留している、ここを訓練基地としているようだ。

「市」と言う自治体は市民の立場で市民を守ることが第一と思う。「掲載」しただけでなく、市民に『知らせる』方法を考えるべきだ。

### 八王子市「環境白書」問題

環境部が毎年出版している、「八王子市環境白書」2017年版の「航空機騒音防止対策」(70頁)には6行のコメントしかないが、その中に『すべての地点で環境基準を達成しました。』とある。2014年版は『環境基準を下回りました。』とある。環境保全課長の度々の発言に「この騒音の原因者わかっているが、解決には…」とあるのに、「**如何にも八王子市がなにかをして『達成』したかのような記述**」は『不遜の極み』では本年版への要望を文書でします。

## 要求提出

騒音観測「地点」と「期間」問題→市は騒音観測器を設置せよ  
2018/1/28

原告団の持つ「騒音観測器」は久保山町一丁目の町会会館内に設置され、通年観測している。この地点はほぼ飛行航路の真下(横田基地の滑走路の延長上)にある。防衛省のコンター図ではW値80である。

一方、八王子市環境部は飛行機騒音調査を業者に委託し、業者は久保山町二丁目にある「石川中学屋上」で、契約により、20日間の騒音測定を行い、解析・分析の上、報告書を作成提出している。

添付の別グラフ(省略しました)はその二つの資料に防衛省が石川市民センター(石川町)に設置し、通年観測している「騒音観測器」の記録を防衛省のホームページにより日毎の騒音回数と騒音指数 Lden を取だし、三者の記録の比較をし、騒音の実態を推定しようとしたものである。

#### 騒音回数

防衛省の数字が大幅に少ない、また八王子市の回数が多い日と重なるとい点がわかる。これは私たちが前々から資料をもって主張してきた、石川市民センターの場所が丘の下(影)でかつ、騒音地区の低い地点であることをデータが示している。そこで、原告団と八王子市の資料には騒音の個々(イベント別)の騒音記録があるので、そのデータをならべ、さらに原告団が持っている目視による飛行機種と飛行状態を重ねると、それらの違いを推測できる。

具体的なデータ表として、回数の違いの大きな7月12日と7月21日の個々の突合せを下記(省略しました)に示した。この比較から、横田基地に常駐する、C-130(ハーキュリーズ)の旋回飛行訓練の飛行航路とその騒音が石川中学側にも広がっていることが判明する。

#### Lden 数字

この数字についてはその計算式の持つ『特性』=対数計算により、騒音エネルギー(LAE)が75dB以上ないと数字的变化があまりでない。グラフ上、上記3か所の数字の違いは大きくない。しかし、この数字を基に「環境評価」をする以上、より正確なものを追求する必要はある。

「高裁」へ向けての「学習会」 その1

2018.1.27

### 「告示コンターを考える」

東京地裁立川支部「判決」2017.10.11 が指摘した問題点

①平成15(2004)年調査→現コンター図

★告示コンターは、最小限の騒音実態しか反映していない

②①と同程度の規模、内容に(での)調査→なされた事実がない

★1977(昭和52)年の被告国による騒音調査に基づき、1979(昭和54)年から1984(昭和59)年にかけて告示され(いわゆる旧コンター)、その後、相当期間が経過したことなどから2003(平成15)年度に3回現地調査を実施し、そのデータ等を用いて騒音コンターが作成され、2005(平成17)年に現在のコンターが告示された。

③本件訴訟で提出された各種測定結果→乖離が顕著でない

④現コンター図での被害地域の認定

#### 主要論点

A. 環境庁方式

環境庁方式のW値は、施設庁方式のW値よりも低い値

W値の開差は、地域ごとの平均として3~5→5Wを加算すべし。

B. W値

横田基地のような軍用空港では、航空機の運航態様が不定であるため、騒音曝露量が一定せず、期間ごとの変動幅が大きいことから、横田基地周辺の騒音曝露量が指定されたW値を下回る時期があることは不可避である。

C. 何をもって修正するや

例一環境基準(環境庁方式での70W)が遵守されなかった日数の推移

# 1月の飛行機騒音報告

騒音対策委員会

2018年2月7日

1月騒音回数総計は467回

騒音レベル別飛行回数						
100dB以上	90~100dB	85~90dB	80~85dB	75~80dB	70~75dB	60~70dB
0	5	11	69	181	92	109

## 今月の特徴

沖縄海兵隊所属オスプレイ MV22 4機が1/11~21に飛来  
横田基地を中心に東・北富士演習場、横田周辺で訓練。  
駐機する新型 C-130、C-12 の習熟訓練も多く、  
右の表の1月17日の最下段にある C-130 の騒音記録  
を見ると、騒音レベルと継続時間がバラバラで、  
これらの飛行ルートが旋回ではないかと類推できる。



「わらべ宇津木台保育園」の北西道路から撮影  
久保山二丁目方向から旋回する C-130



久保山町一丁目の交差点マック前で飛行場方向へ飛行する C-130

もっとも騒音係数の大きな日			
昨年6月1日に次ぐ		17年6月1日	
	2018年1月17日	騒音記録	水
騒音回数	33	騒音回数	65
騒音指数 (Lden)	60.5	騒音指数 (Lden)	61.1
時間帯別			
N1 (00:~07:)	0	N1 (00:~07:)	1
N2 (07:~19:)	33	N2 (07:~19:)	57
N3 (19:~22:)	0	N3 (19:~22:)	7
N4 (22:~24:)	0	N4 (22:~24:)	0
騒音別			
60dB~70dB	6	60dB~70dB	12
70dB~75dB	2	70dB~75dB	12
75dB~80dB	7	75dB~80dB	18
80dB~85dB	6	80dB~85dB	19
85dB~90dB	9	85dB~90dB	3
90dB~100dB	3	90dB~100dB	0
100dB~	0	100dB~	1

今回、オスプレイは4機での訓練  
2019年横田基地オスプレイCV22の配備計画によれば最終10機に  
とんでもない騒音に

# オスプレイの飛来

## 当地上空での飛行訓練続く



基地上空以外、特に市街地でヘリモード飛行は『しない』との日米合意はどこへ  
今日も頭上でヘリモード飛行

オスプレイが横田に配備された場合  
このような騒々しい日が続くと  
予想することはとても恐ろしいことです。

もっとも騒音係数の高かった1月17日の騒音の個々を右の表に、前年の最大日との比較を下表にしました。

## 比較と解析

- 騒音回数  
昨年の半分の数で同じ騒音指数
- 時間帯別回数  
今年のは全て日中
- 騒音指数の要因  
騒音別の数字  
100dB 以上はゼロ  
しかし、85dB以上  
昨年の4倍の12回
- オスプレイの騒音  
右の表より、  
33回中14回がオスプレイレベル別は下記の通り、高い階層のほとんどである。

75dB~80dB	1
80dB~85dB	3
85dB~90dB	7
90dB~100dB	3

目視機種	年月日	時刻	LAmx dB	D. Time s	BGN dB	LAE dB	飛行方向
オムニ2	2018/1/17	10:31:26	89.2	5.4	46.0	92.3	着陸
C-17	2018/1/17	10:51:06	83.6	16.5	46.0	91.7	着陸
???	2018/1/17	11:20:25	63.6	33.8	45.0	75.0	離陸
???	2018/1/17	12:19:41	66.6	32.6	42.0	77.6	離陸
オスプ	2018/1/17	12:31:22	84.0	44.7	43.0	96.2	着陸
オスプ	2018/1/17	12:51:01	88.0	24.7	42.0	98.2	着陸
オスプ	2018/1/17	13:10:59	89.8	17.8	42.0	99.6	着陸
オスプ	2018/1/17	13:29:17	91.1	14.1	43.0	98.7	着陸
オスプ	2018/1/17	13:49:14	88.7	16.3	44.0	97.7	着陸
C-12	2018/1/17	13:55:13	70.3	27.6	44.0	81.8	着陸
オスプ	2018/1/17	14:04:16	87.8	20.3	44.0	96.5	着陸
C-130	2018/1/17	14:10:35	85.1	9.9	44.0	91.6	着陸
C-12	2018/1/17	14:15:54	77.0	9.8	44.0	83.7	着陸
ヘリコ	2018/1/17	14:31:16	71.1	33.0	45.0	81.7	着陸
???	2018/1/17	14:51:03	62.2	43.9	44.0	74.5	着陸
J4	2018/1/17	14:59:21	83.5	15.5	46.0	91.8	着陸
C-12	2018/1/17	15:07:54	69.6	24.5	44.0	80.3	着陸
ヘリコ	2018/1/17	15:15:35	77.5	39.5	44.0	88.6	着陸
???	2018/1/17	15:19:55	67.2	49.0	46.0	79.4	離陸
C-12	2018/1/17	15:26:15	77.9	9.9	46.0	84.7	着陸
ヘリコ	2018/1/17	15:37:29	77.7	27.1	47.0	89.0	着陸
オスプ	2018/1/17	15:41:59	93.6	10.6	48.0	100.0	着陸
C-12	2018/1/17	15:45:46	77.8	11.2	48.0	84.6	着陸
オスプ	2018/1/17	15:49:44	82.2	50.6	50.0	95.6	着陸
オスプ	2018/1/17	16:03:22	87.7	21.9	51.0	97.5	着陸
オスプ	2018/1/17	16:15:41	87.9	17.9	55.0	96.8	着陸
オスプ	2018/1/17	16:23:06	89.4	19.0	55.0	99.3	着陸
オスプ	2018/1/17	16:44:06	91.3	18.3	54.0	100.1	着陸
オスプ	2018/1/17	17:06:51	84.1	39.8	53.0	96.5	着陸
オスプ	2018/1/17	17:10:04	79.6	39.0	53.0	92.6	着陸
C-130	2018/1/17	18:03:11	69.5	26.3	45.0	80.5	着陸
C-130	2018/1/17	18:04:36	79.7	12.5	45.0	86.5	着陸
C-130	2018/1/17	18:24:47	82.6	11.5	45.0	88.8	着陸

## 上の表の説明

目視機種—目視観測による機種確認です。

- オスプ—オスプレイ
- C-130—常駐の新型ハーキュリーズ
- C-12—常駐の2発ターボプロペラ機
- ヘリコ—各種ヘリコプター
- オムニ2—飛来機でオムニ航空の2発
- J4—飛来機でナショナル航空の4発
- ???
- C-17—飛来機で超大型輸送機  
右は C-5 ですが、ほぼ同型

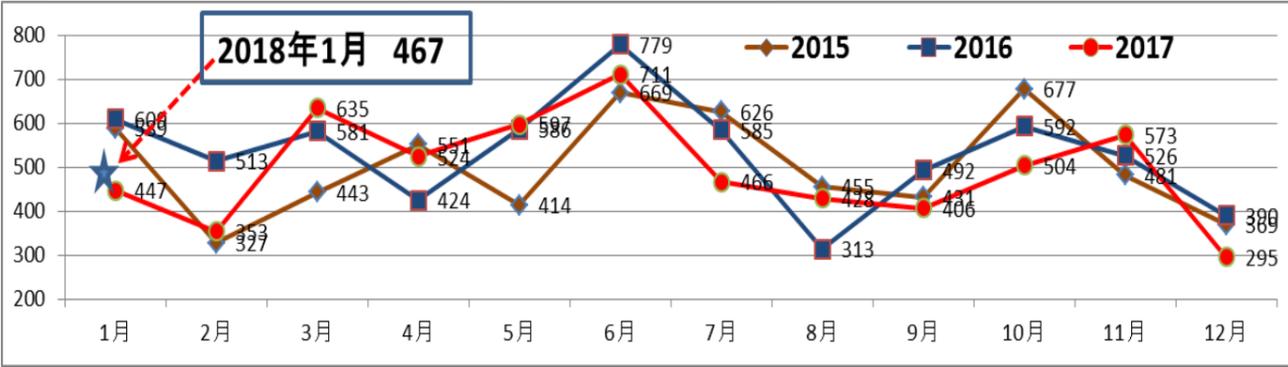
時刻—その飛行の最高値を記録した時刻  
LAmx—その飛行の騒音の最高値  
D. Time—その飛行の騒音を記録した時間  
BGN—その飛行の騒音時の地上音  
LAE—総騒音を一秒間換算のエネルギー量  
飛行方向—飛行場方向へ着陸か離陸か



「4J」でよく見る飛行機です



オリンパス研究所の上を着陸体勢で



何と大きくふくれた胴体  
そこに燃料が満タンでは